



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 東邦化学工業株式会社

コード番号 4409 URL <http://www.toho-chem.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中崎 龍雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理本部長 (氏名) 井上 豊 TEL 03-5550-3735

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	18,454	△5.2	778	123.9	13	△95.7	△573	—
28年3月期第2四半期	19,467	△3.3	347	239.5	327	—	135	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △951百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 149百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△26.87	—
28年3月期第2四半期	6.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	43,758	8,900	20.2
28年3月期	45,483	9,982	21.8

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 8,828百万円 28年3月期 9,895百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	△0.3	2,000	73.0	1,200	69.0	200	—	9.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（平成28年11月7日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	21,350,000株	28年3月期	21,350,000株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	17,191株	28年3月期	17,191株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	21,332,809株	28年3月期2Q	21,333,807株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、基調としては緩やかな回復が続いているものの、海外経済の減速と円高の影響から輸出の減少が続き、企業業績が鈍化、また、個人消費もインバウンド効果の剥落から弱含みに転じる等、停滞感の強い動きとなりました。

化学業界におきましては、前期まで企業収益を押し上げてきた円安・原油安の流れが一服し、今後、円高進行による更なる輸出環境の悪化と原材料価格の上昇が懸念される所です。

このような経営環境下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、販売数量は全体として伸長したものの売価下落の影響により、前年同期比10億13百万円、5.2%減収の184億54百万円となりました。

利益面は、東邦化学(上海)有限公司における営業損益の改善に遅れがみられるものの、前期からの原材料価格値下がりによる利益率の改善効果により営業利益は増益となりましたが、経常利益は、東邦化学(上海)有限公司での円高による多額の為替差損発生の影響により、大幅な減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益については、厚生年金基金解散に伴う特別損失4億90百万円の発生等の要因により、損失計上となりました。

その結果、営業利益は、前年同期比4億30百万円増益の7億78百万円、経常利益は、前年同期比3億13百万円減益の13百万円、親会社株主に帰属する四半期純損益は、5億73百万円の損失(前年同期は1億35百万円の利益)となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

## (界面活性剤)

トイレタリー用界面活性剤は、ヘアケア用基剤が伸長し、若干の増収となりました。プラスチック用界面活性剤は、主力の帯電防止剤が伸び悩み、防曇剤や乳化重合剤等が低調で減収となりました。土木建築用薬剤は、コンクリート用関連薬剤の需要低迷が続き減収となりました。紙パルプ用界面活性剤は、消泡剤やサイズ剤等が振るわず減収となりました。繊維助剤は、ガラス繊維用助剤等の海外販売向けが伸長し増収となりました。農薬助剤は、海外需要向けが落ち込み大幅な減収となりました。

その結果、当セグメントの売上高は、前年同期比3億79百万円、3.7%減収の99億9百万円となり、セグメント利益は、前年同期比3億98百万円増益の6億43百万円となりました。

## (樹脂)

石油樹脂は、第2四半期に入り原料不足による減産の影響から減収となりました。合成樹脂は、断熱ウレタンフォーム用等が低調、樹脂エマルジョンも、フローポリッシュ用等が振るわず、共に減収となりました。

その結果、当セグメントの売上高は、前年同期比1億円、6.7%減収の14億3百万円となり、セグメント損失は、2百万円(前年同期は34百万円の損失)となりました。

## (化成品)

合成ゴム・ABS樹脂用ロジン系乳化重合剤は、海外向け販売が低調で大幅な減収となりました。石油添加剤は、油水分離剤や脱ロウ助剤等の海外向けが好調で増収となりました。金属加工油剤は、主力の水溶性切削油剤が低調で減収となりました。

その結果、当セグメントの売上高は、前年同期比3億57百万円、11.4%減収の27億71百万円となり、セグメント利益は、前年同期比1億19百万円増益の1億69百万円となりました。

## (スペシャリティーケミカル)

溶剤は、一般溶剤の落ち込みやブレーキ液用など売価下落の影響もあり、減収となりました。電子・情報産業用の微細加工用樹脂は、半導体関連向けの出荷調整の影響により減収となりました。アクリレートは、電子情報材料関連の需要回復により増収となりました。

その結果、当セグメントの売上高は、前年同期比1億78百万円、4.0%減収の43億24百万円となり、セグメント利益は、前年同期比29百万円増益の1億78百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、437億58百万円と前期末比17億25百万円の減少となりました。その内訳は、流動資産が3億64百万円減少の236億70百万円、固定資産が13億61百万円減少の200億87百万円です。

流動資産の主な増減要因は、現金及び預金が7億5百万円の増加、受取手形及び売掛金が2億25百万円の減少、たな卸資産が7億60百万円の減少です。

固定資産の主な増減は、有形固定資産が13億49百万円の減少、無形固定資産が1億45百万円の減少、投資その他の資産が1億34百万円の増加です。

一方、負債合計は348億57百万円と前期末比6億43百万円の減少となりました。主な増減要因は、流動負債で、支払手形及び買掛金が2億69百万円の減少、短期借入金が2億83百万円の減少、未払法人税等が1億88百万円の減少、固定負債で、厚生年金基金解散損失引当金が4億90百万円の増加です。

純資産は、89億円と前期末比10億81百万円の減少となりました。主な増減要因は、利益剰余金が、配当金の支払いと親会社株主に帰属する四半期純損失により7億1百万円の減少、その他の包括利益累計額が3億65百万円の減少です。

その結果、自己資本比率は20.2%となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は59億48百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億5百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は15億55百万円の収入（前年同期比5億49百万円の収入増）となりました。収入の主な要因は、減価償却費9億81百万円、厚生年金基金解散損失引当金の増加額4億90百万円、たな卸資産の減少額5億49百万円、為替差損6億69百万円等であり、支出の主な要因は、税金等調整前四半期純損失4億80百万円、仕入債務の減少額1億62百万円、法人税等の支払額4億11百万円等です。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は4億24百万円の支出（前年同期比1億91百万円の支出減）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出4億34百万円等によるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は3億39百万円の支出（前年同期比5億8百万円の支出減）となりました。収入の要因は、短期借入金の純増額1億57百万円であり、支出の主な要因は、長期借入れの純減額1億97百万円、リース債務の返済による支出1億70百万円、配当金の支払額1億27百万円等です。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

個別業績につきましては、売上高は、下期以降も売価下落の影響で期初予想を下回る見込みです。利益面は、原材料安の環境が当面続くものと予想しており、利益率の改善効果から期初予想を上回る見通しです。

連結業績につきましては、売上高は、個別業績の売上高減少に加え、東邦化学（上海）有限公司での販売計画の遅れによる影響により、期初予想を下回る見込みです。利益面は、東邦化学（上海）有限公司の営業損益改善の遅れによる損失の拡大と上期に発生した同社の円建て借入債務に係わる為替差損の影響により、期初予想を下回る見通しです。

その結果、平成28年5月13日に「平成28年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」において公表いたしました平成29年3月期通期業績予想を、連結・個別ともに修正しております。

本修正に関しましては、別途、本日（平成28年11月7日）付「業績予想の修正に関するお知らせ」において公表しておりますのでご参照ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

### (4) 追加情報

#### (厚生年金基金の解散)

当社及び連結子会社1社が加入する「日本界面活性剤工業厚生年金基金（以下、「同基金」という）」は、平成27年2月20日の代議員会において解散方針決議を行い解散申請の手続きを進めておりましたが、平成28年10月25日同基金の代議員会で特例解散の決議がなされ、近日中に関東信越厚生局に特例解散の申請を行うことになりました。

同基金の特例解散申請の認可予定日は、平成29年1月中としており、認可日時点の代行部分の積立不足額は現時点では確定されませんが、平成28年9月30日時点の合理的に算出された積立不足見込み額が明らかになりましたので、当第2四半期連結損益計算書の特別損失に「厚生年金基金解散損失引当金繰入額」として4億90百万円、当第2四半期連結貸借対照表の固定負債に「厚生年金基金解散損失引当金」として4億90百万円を計上しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,439	6,144
受取手形及び売掛金	8,876	8,650
たな卸資産	8,746	7,986
その他	972	889
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	24,034	23,670
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,270	7,662
機械装置及び運搬具(純額)	3,727	3,071
土地	3,146	3,145
建設仮勘定	5	79
その他(純額)	1,782	1,623
有形固定資産合計	16,933	15,583
無形固定資産	931	785
投資その他の資産	3,584	3,718
固定資産合計	21,448	20,087
資産合計	45,483	43,758

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,692	6,423
短期借入金	7,200	6,916
1年内償還予定の社債	300	1,900
未払法人税等	417	228
賞与引当金	384	359
その他	2,131	2,038
流動負債合計	17,126	17,866
固定負債		
社債	5,620	4,020
長期借入金	6,702	6,668
役員退職慰労引当金	111	103
厚生年金基金解散損失引当金	—	490
退職給付に係る負債	4,565	4,509
資産除去債務	59	59
その他	1,316	1,138
固定負債合計	18,374	16,990
負債合計	35,501	34,857
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,755	1,755
資本剰余金	896	896
利益剰余金	5,678	4,977
自己株式	△4	△4
株主資本合計	8,325	7,624
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	744	779
為替換算調整勘定	1,139	725
退職給付に係る調整累計額	△313	△300
その他の包括利益累計額合計	1,570	1,204
非支配株主持分	86	72
純資産合計	9,982	8,900
負債純資産合計	45,483	43,758



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	19,467	18,454
売上原価	16,811	15,337
売上総利益	2,655	3,116
販売費及び一般管理費	2,307	2,338
営業利益	347	778
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	26	28
物品売却益	21	17
為替差益	106	—
その他	22	27
営業外収益合計	180	75
営業外費用		
支払利息	149	128
為替差損	—	671
その他	51	40
営業外費用合計	201	839
経常利益	327	13
特別利益		
固定資産売却益	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
固定資産廃棄損	2	0
減損損失	9	—
投資有価証券売却損	—	2
固定資産売却損	—	3
厚生年金基金解散損失引当金繰入額	—	490
特別損失合計	12	496
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	314	△480
法人税等	180	90
四半期純利益又は四半期純損失(△)	134	△571
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	2
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	135	△573

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	134	△571
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△92	35
為替換算調整勘定	102	△427
退職給付に係る調整額	5	12
その他の包括利益合計	15	△380
四半期包括利益	149	△951
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	148	△939
非支配株主に係る四半期包括利益	1	△12

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	314	△480
減価償却費	1,050	981
減損損失	9	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	10	△20
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△1	△7
厚生年金基金解散損失引当金の増減額(△は減少)	—	490
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	74	△31
受取利息及び受取配当金	△30	△30
支払利息	149	128
為替差損益(△は益)	△94	669
投資有価証券売却損益(△は益)	—	2
有形固定資産除売却損益(△は益)	—	1
固定資産廃棄損	2	0
売上債権の増減額(△は増加)	△60	△1
たな卸資産の増減額(△は増加)	102	549
仕入債務の増減額(△は減少)	42	△162
その他	△231	△24
小計	1,338	2,064
利息及び配当金の受取額	30	30
利息の支払額	△155	△128
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△206	△411
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,005	1,555
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△606	△434
有形固定資産の売却による収入	—	4
無形固定資産の取得による支出	△3	△0
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
投資有価証券の売却による収入	—	8
その他	△1	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△615	△424
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△258	157
長期借入れによる収入	1,500	1,650
長期借入金の返済による支出	△1,815	△1,847
リース債務の返済による支出	△146	△170
配当金の支払額	△128	△127
非支配株主への配当金の支払額	—	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△847	△339
現金及び現金同等物に係る換算差額	18	△85
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△439	705
現金及び現金同等物の期首残高	4,433	5,243
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,994	5,948

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	界面 活性剤	樹脂	化成品	スペシャ リティー ケミカル	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	10,289	1,503	3,128	4,503	19,424	42	19,467	—	19,467
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	92	92	△92	—
計	10,289	1,503	3,128	4,503	19,424	135	19,560	△92	19,467
セグメント利益 又は損失(△)	244	△34	50	148	408	27	436	△89	347

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析及び物流倉庫業務等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△89百万円には、棚卸資産の調整額△115百万円等が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書計上額の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	界面 活性剤	樹脂	化成品	スペシャ リティー ケミカル	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	9,909	1,403	2,771	4,324	18,409	44	18,454	—	18,454
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	99	99	△99	—
計	9,909	1,403	2,771	4,324	18,409	143	18,553	△99	18,454
セグメント利益 又は損失(△)	643	△2	169	178	988	20	1,009	△231	778

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析及び物流倉庫業務等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△231百万円には、棚卸資産の調整額△265百万円等が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書計上額の営業利益と調整を行っております。